



お身体への負担軽減～カプセル内視鏡～

内科 前川 聡

カプセル型の小さな内視鏡

カプセル内視鏡とはビタミン剤のように自分で口から飲み込むことができる幅11mm、長さ26mmのカプセル型の内視鏡です。上部・下部消化管内視鏡検査など従来の検査方法で原因を特定できない消化管出血の原因精査のために開発されました。



検査方法は飲み込むだけ!!

飲み込まれたカプセル内視鏡は消化管を通りながら小腸の写真を撮影し、大腸を通りぬけ便とともに体外に排泄されます。撮影された画像は腰に取り付けたテータレコーダに保存され、後日その画像を解析し診断を行います。



検査は1日でOK☆

検査時間は8から12時間程度で、外来で行う事が出来ます。その場合は朝に来院して頂き、カプセルを服用してから、一度院外で過ごし、夕方に再度来院して頂きテータレコーダを回収する事になります。

あなたの疑問にお答えします☆ Q & A

Q 1 カプセル内視鏡検査にかかる費用はどれくらい？

A 1 外来の検査で保険が適用され、自己負担が3割の場合は約3万円となります。

※保険が適用されない場合がありますので必ずご確認ください。

Q 2 体内から出ない場合はありますか？

A 2 ごく稀にですが、腸管に狭窄病変がある場合に滞留する偶発症が起こることもあります。



当院でも2008年10月に開始してから多くの患者さまが検査を受けられています。現在のところは小腸の検査用ですが、食道や大腸への応用なども研究されており、患者さまにとって、より負担の少ない消化管の検査方法の開発も進んでいます。



蒸し暑いこの季節、食中毒には要注意!!



気温も上がり夏が感じられる季節となりました。これからは海水浴やバーベキューなど楽しい行事も増えてくることでしょう。しかし、楽しい行事と同時に食中毒の発生件数が最も多くなる時期でもあります。

食中毒とは細菌やウイルスが付着した食品や、有害物質の含まれた食品などを食べてしまった時におこる腹痛、発熱、下痢、嘔吐、などの胃腸炎症状です。



※国外、国内外不明の事例は除く

引用元：厚生労働省統計資料

もしも食中毒になってしまったら!!

下痢や嘔吐を繰り返した場合、水分が不足し脱水症状を起こしやすくなります。そのため、水分補給や塩分、糖分などの補給も忘れずに行うようにしましょう。また、嘔吐がある場合は窒息に注意し吐きやすい体位をとってください。なお、食中毒は死に至ることもある病気ですでお早めにお近くの医療機関を受診してください。

関西労災病院

携帯版ホームページ始めました☆

<http://www.kanrou.net/mobile/>



独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院
 尼崎市稲葉荘3-1-69 TEL 06-6416-1221(代表)
 HP <http://www.kanrou.net/>
 発行人 林 紀夫 編集人 福山 裕